

## みえ現場 de 県議会

多様な県民のご意見を県議会に取り入れる広聴機能を強化するための取り組みとして、「みえ現場 de 県議会」を平成22年度から開催しています。

今年度の第2回目は2月1日に四日市市内で「ものづくり産業振興」をテーマに、企業関係者や教育関係者など12人と議員12人が参加し、テーマに関する県議会の取り組みを報告した後、ものづくり産業が抱える課題や可能性について、意見交換を行いました。

参加者からは、次のような意見がありました。

### ◎事業者などの連携

・連携は以前からやってきている。原点は人のご縁、テーマとの出会い。それをいかにやってみるか。  
・自社だけで開発は不可能だったが、大学との連携で可能性が見えてきた。中小企業が気軽に手を伸ばせる窓口が必要。  
・三重県はお茶と焼き物の生産量が全国上位。地域資源を生

かし、三重県という切り口でアピールできないか。

### ◎人材育成・供給

・企業内に教育部門がないので、新卒者を採用するためには身近に教育の場があると助かる。  
・学生時代にもっと専門的な教育が必要ではないか。  
・工業高校で実施しているインターシップは、地元企業を自分の目で見られるので地元への就職が増えた。いずれは就職につながるようなインターシップ制度が必要ではないか。

・大学院では、地元企業の社長に講師として来てもらったり、長期のインターシップを行うことで地元企業への就職率が100%近くになってきている。学生に三重県のことを良く知らせることが、地元企業で働くにはどういう力をつけたいかを意識しながら自主性を持つて学べることにつながるのではないか。

なお、いただきましたご意見は、今後、議会での議論に反映していきます。

## 第8回三重県議会 トップセミナー

三重県議会トップセミナーは、議員の政策形成能力の向上を図り、県議会での政策議論の充実や深化につなげていくことを目的に開催しています。

今回は、読売新聞東京本社編集委員で三重県議会の「議員報酬等に関する在り方調査会」委員も務められた青山彰久氏から、「政権交代後の地方制度改革・地域政策の行方」をテーマに、ご講演いただきました。

セミナーでは、これまでの地方分権改革の経緯や現状、地方財政の問題点などとともに、地

域政策を考える視点として、道州制の課題や府県が存在意義、人間と自然の共生原理に基づく地域主義の考え方、「維持可能な都市」における地方自治の役割などについて、貴重なお話をいただきました。  
議員からは、「地方分権が進む中、県ほどのような役割を果たしていくべきか」「地域住民を巻き込んだ分権運動にするための方策とは」などの質問がありました。

### 平成25年三重県議会定例会の日程

三重県議会の会期は通年制となっています。5月から6月までの日程は次のとおりです。

5月	9日	議会運営委員会
	16日	役員改選
	23日～27日	各常任委員会
6月	28日	議会運営委員会
	4日	議案上程
	7日	議案に関する質疑
	10日、12日、14日	一般質問
	18日～21日	各常任委員会および分科会
	26日	予算決算常任委員会
27日	議会運営委員会	
28日	採決	

この日程は、平成25年3月31日現在の予定であり、変更する場合があります。

TV テレビ中継

インターネット中継

## 編集 三重県議会広聴広報会議

座長 舟橋 裕幸(副議長)  
 委員 下野 幸助 藤根 正典 水谷 正美 石田 成生  
 中村欣一郎 村林 聡 大久保孝栄 今井 智広  
 中西 勇

### 問い合わせ窓口

〒514-8570 津市広明町13 三重県議会事務局企画法務課  
 ☎059-224-2877 ☎059-229-1931  
 ✉gikaik@pref.mie.jp  
 🌐http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/



次の発行は平成25年(2013年)6月20日です。



この広報紙は、再生紙と、環境にやさしい植物油インキを使用しています。